第1回学校アンケート

実施日: 令和7年7月1日~7月21日 対 象:児童

7月に実施した第1回と昨年度の7月の結果の変化を 調べました。各設問について、「そう思う」「どちらかとい うとそう思う」と『肯定的な回答』をした児童の回答につ いて比較をしました。

60

40

80

40

20

77 3

R6/7

□そう思う ■どちらかというとそう思う



Q7.友達のよいところを見つけて伝

えている。

40.3

R6/7

31.9

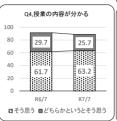
R7/7

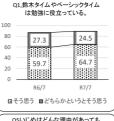
100

80

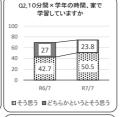
60

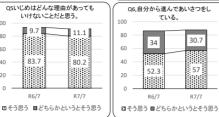
20

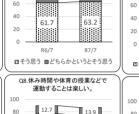


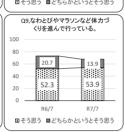


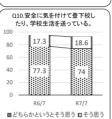
80

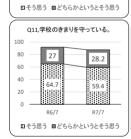


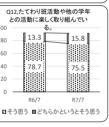






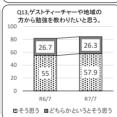






73.1

R7/7



考察 学校評価アンケートの考察(昨年度比較)

1. 学習面

- ・Q1・Q2・Q3:鈴木タイム・ベーシックタイム、家庭学習、学習への粘り強さで肯定的回答 が増加。学習習慣や取組姿勢に改善が見られる。
- Q4:授業理解度は微増し、概ね維持。

2. 生活面

- ・Q6:挨拶が向上。主体的な行動が増えている。-
- ・Q5・Q7:いじめは絶対にいけないという強い意識がやや弱まり、友達のよさを伝える点も減少。人間関係面での課題が示された。

3 健康・安全面

- Q8:運動の楽しさの実感が減少
- ・Q9:体力づくりは「そう思う」が微増も、「どちらかというと」が大きく減り、二極化の傾向。 Q10:安全への意識がやや低下。

- 4. 規範意識·異学年活動 Q11: 学校の決まりを守る意識が低下。
- ·Q12: 縦割り活動・異学年交流の楽しさも減少。

5 地域連携

Q13:地域やゲストティーチャーへの期待は微増。

全体まとめ

〇改善点

・学習習慣・粘り強さ・挨拶など、学習面と一部の生活態度で成果が見られる。

○課題占·規節章識

・人間関係(友達のよさ、いじめ意識)、運動や安全面での意識低下が課題。

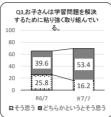
〇今後の重点

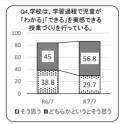
- ・学習面の取組を継続・充実させる。
- ・規律や人間関係づくり、安全・運動面への意識付けを強化する。
- ・地域人材を生かした学びをさらに広げていく。

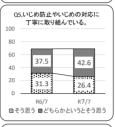
第1回学校アンケート

実施日:令和7年7月1日~7月21日 対 象: 児童、保護者・地域の皆さま

7月に実施した第1回と今回の結果の変化を調べまし た。各設問について、「そう思う」「どちらかというとそう 思う」と『肯定的な回答』をした児童の回答について比 較をしました。







□ そう思う ■ どちらかというとそう思う

01 鈴木タイトやベーシックタイ

んけ其本事項を身に付けるうえ

で役に立っている。

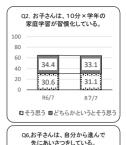
40.6

50

39.9

36.5

R7/7



60

40

20

43.4

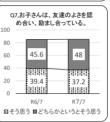
28.9

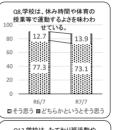
R6/7

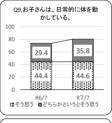
43.9

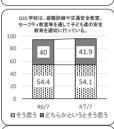
29.1

R7/7

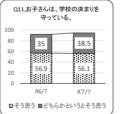


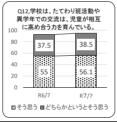


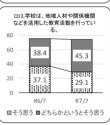


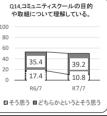


□ そう思う ■ どちらかというとそう思う









考察 学校評価アンケートの考察(昨年度比較)

1. 学習面

- Q1・Q2(鈴木タイム・家庭学習):数値は昨年度よりやや低下。
- ・Q3・Q4(粘り強さ・授業理解):「そう思う」は減少したものの、「どちらかというとそう思う」が増加。

2. 生活・人間関係面

・Q5(いじめ対応):微減だが、「どちらかというと」が増加。いじめ防止への取組は一定の評価を得ているものの、理解や安心感をさらに高める余地あり。 ・Q6・Q7(挨拶・友達との関わり):おおむね維持。日常生活の基本的な姿勢や友達関係づくりは安定している。

R 健康 中央

- ・Q8・Q9(運動・体力):運動の楽しさはやや低下。体を動かす習慣はほぼ維持。楽しさを 実感できる活動の工夫が課題。
- ・Q10(安全教育):ほぼ維持。避難訓練や交通安全教育は安定して評価されている。

4 規律·活動面

Q11・Q12(学校の決まり・異学年活動):全体として維持または微増。

- 5. 地域連携・コミュニティ理解 ・Q13(地域人材活用):「そう思う」は減少、「どちらかというと」が増加。
- ・Q14(コミュニティ・スクールの理解): 昨年度より低下。地域保護者への周知や理解促進 が今後の課題。

全体まとめ

〇改善点

・学習習慣や生活習慣、挨拶、友達とのかかわりなど、日常生活面は概ね安定または向上している。

〇課題点

運動の楽しさの実感や地域連携、コミュニティスクールの取組への理解が低い。

- 〇今後の重点
- ・授業や家庭学習で子どもが「わかる・できる」を実感できる工夫をさらに充実させる。 運動や体力づくりを楽しめる活動の工夫を行う。
- ・地域連携やコミュニティスクールの取組を、保護者に分かりやすく伝え、理解を深める。